

平成 31 年度事業計画
平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで

1 事業実施の方針

ここ数年慢性的な赤字経営となっており、剰余金を取り崩して運営している現状である。

しかし、当会のサービス活動は地域社会に大きく貢献しており、剰余金の残額も考慮しながら、できる限り活動を継続していく責務がある。

そこで、不要不急な経費は削減して、より充実したサービスを提供していくことに心がけて運営する。

(1) 外出支援活動

- ・ 福祉有償運送活動については、可能な限り活動を継続する。
- ・ 無償運送「もやい号」の運行については、より利便性向上のため現在の「火・木・土」から、「月・水・金」についても、予約通院等やむ負えない事情があり、運転手に余裕時間がある時に限り運行する。

(2) 居場所の運営

- ・ 料金体系を見直す（別紙参照）
- ・ 食事作りのボランティアの現状から、当分の間利用者は増やせない
- ・ ボランティアへの謝礼金を支給する（現在支給していない）

(3) 他団体とのネットワーク並びに利用者等からの相談業務
できる限り現状を継続する

平成 31 年度活動計算書

科目	予算額	摘 要
正会員受領会費	100,000	1,000 円×100 人
賛助会員受領会費	6,000	3,000 円×2 人
運営会員受領会費	60,000	3,000 円×20 人
受取寄付金	500,000	5,000×100 人
受取入会金	40,000	2,000 円×20 人
福祉有償運送収益	2,000,000	
もやい号収益	350,000	
生きがいデイ収益	240,000	500 円×40 名×12 月
生活支援	15,000	
民間助成金収入		
受取利息	2,000	
雑収入	10,000	
経営収入計	3,323,000	
給与手当	1,465,000	762 円×40 時間×4 週×12 月
賃金	583,000	800 円×7 時間×2 日×52 週
法定福利費	77,000	6,343 円×12 月
人件費計	2,125,000	
旅費交通費	10,000	
通信費	250,000	ドコモ 6,200 円×12/ナカヨ電子 10,000 円×12 月 切手 25,000 円/NHK13,990 円
減価償却費	602,000	
消耗品費	300,000	西日本新聞 3,093 円×12 エプソンインク 15,000 コピートナー130,000 その他 10,000 円×12
消耗什器備品等		車検 40,000 円×3 台 10,000 円×5 台
修繕費	170,000	
燃料費	600,000	ガソリン 50,000 円×12 月
水道光熱費	219,000	電気 13,000 円×12 月 ガス 4,000 円×12 月 水道 2,500 円×6 回
賃借料	420,000	35,000 円×12 月
保険料	160,000	自動車 45,000 火災 15,260 自賠責 25,070×3 活動保険 23,839

租税公課	27,000	重量税 6,600 円×3 台 軽自動車税 7,200 円No.10-51
食材費	300,000	
諸会費	24,000	
寄付金支出	5,000	
たすけあい謝礼金	1,040,000	移動 800,000 円／居場所 240,000 円
委託料	104,000	会計広報 32,400 円 アルソック 2 回 17,000 円 ヤチココアコピー機 54,000 円
リース代	111,000	9,180 円×12 月
研修費	5,000	安管講習 4,500 円
雑費	120,000	香典・汲取り料・その他
その他経費計	4,467,000	
計上経費系	6,592,000	
収支差引	△3,269,000	